

## [三股町]

### 校務DX計画

文部科学省「GIGA スクール構想の下での校務の情報化の在り方に関する専門家会議提言」に基づく次世代の校務デジタル化に向け、文部科学省が公表した「GIGA スクール構想の下での校務DX化チェックリスト」に示されている、教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現するため、本町において、次に掲げる事項を重点的に推進する。

#### ①ネットワーク環境整備

本町では十分なクラウド活用を行うために、令和6年度にネットワークアセスメントを実施した。その結果、全ての学校の教室内の無線LANの電波強度については概ね問題ないことが分かった。しかしながら、文部科学省が令和6年4月に公表している「学校のネットワークの現状について」の中で示されている、学校規模ごとの帯域の目安（当面の推奨帯域）に照らし合わせると、児童生徒の少ない学校では基準を満たしているものの、児童生徒の多い学校では、当面の推奨帯域を満たしていないことが判明した。一部の学校で帯域の目安（当面の推奨帯域）に達しなかったが、教室内の無線LANの電波強度については概ね問題ないとの結果であるので、今後とも校内ネットワーク環境の改善を注視しながら、長期的には機器の更新（Wifi6、10G化）も含め検討していく。

#### ②次期校務支援システムへの移行

本町では、平成28年度よりオンプレミス型による校務支援システムを導入し、町内の学校間で使用していたが、令和4年度より、県で管理する独自のネットワーク上で繋がる宮崎県統合型校務支援システムを導入し校務を行っている。この宮崎県統合型校務支援システムの更新時期が近いため、次期校務支援システムの導入についても宮崎県統合型校務支援システム共同調達・運用協議会に参加し検討を進める。

#### ③FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果によると、「業務にFAXを利用していますか」の問いに対して、町内の7校全ての学校で「使用している」と回答しており、県内でも全ての学校で「使用している」と回答している。また、学校で「保護者・外部とのやりとりで押印・署名はありますか」の問いに対して、町内の7校全ての学校で「ある」と回答している。また、県内でも9割以上の学校が「ある」と回答している。このような状況を踏まえ、今後の県内の市町村の動向を注視しながらFAXの活用について検討していく。

#### ④教育セキュリティポリシーの改定について

平成26年度に三股小・中学校情報セキュリティポリシーを策定したが、10年以上経過しており、想定された時点でのリスクに対する規定も大きく変化している。今回の校務DX計画作成にあたり、最新の法規制に合わせた見直しを行うとともに、教育環境における個人情報の漏洩に対する手法や新しい技術やツールに対する対応策など、教育環境における情報セキュリティの強化を図り、三股小・中学校情報セキュリティポリシーを改定する。